

平成24年度第2回 江別市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時	平成25年2月14日（木）14時～15時54分
場 所	野幌公民館 研修室3・4号
出席委員	押谷会長、佐藤副会長、小出委員、林倉委員、蛭名委員、後藤委員、中井悦子委員 山崎委員、菊池委員、中井和夫委員（10名）
欠席委員	星委員、最上委員、森木委員（3名）
事 務 局	柴垣生活環境部長、土屋生活環境部次長、川村環境室長、澤田減量推進課長、明石廃 棄物対策課長、立石施設管理課長、渡辺減量政策担当主幹、松井減量推進係長、中村 リサイクル係長、鎌田主任（10名）
傍 聴 者	1名
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 (1) 報告事項 ・ 江別市のごみの現状について ・ 基本計画施策の取り組み状況について ・ 地域主権改革一括法に伴う条例の一部改正について (2) その他 4. 閉会
配布資料	資料1 江別市のごみの現状について 資料2-1 一般廃棄物処理基本計画の施策取組み状況 資料2-2 施策の取組み結果について 資料2-3 リサイクルバンク事業の実施状況について 資料2-4 家庭系廃棄物処理手数料の減免期間変更について/業務の委託拡大について 資料3 地域主権改革一括法に伴う廃棄物の処理及び資源化・再利用の促進に関する 条例の一部改正について 別紙資料 ごみコミえべつ第43号・第44号・第45号

▼会議内容

【開会】

○減量推進課長／本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。これから江別市廃棄物減量等推進審議会を開催します。本日は定数13名のうち10名の出席があり、審議会が成立しています。審議に入る前に、退任された高橋委員の後任として、本日より小出委員がメンバーに加わるので、ごあいさつをお願いします。

○小出委員／小出です。前任者の高橋さんが昨年3月いっばいで転出されましたので、私がこの役をお受けすることとなりました。地質学を専門としていますが、一時、廃棄物の方もやっていたので、多少関わりがあるかと思えます。よろしくをお願いします。

○減量推進課長／それでは議事に移りますが、本日は傍聴者が1名いますので、あらかじめ報告します。では、会長より議事の進行をお願いします。

【会長あいさつ】

○会長／今日は、報告事項が3件用意されていますが、1件ずつ報告を受けて、質疑を受けるということにしたいと思います。1点目から説明をお願いします。

【報告事項】

○減量政策担当主幹／（江別市のごみの現状について報告）

○会長／ただいま説明がありましたが、何か質問・意見などはありますか。

○中井(和)委員／江別の場合、人口が減り、消費も減っています。さらに所得も減って、加えて高齢化も進んでいるので、家庭系のごみはもっと減ってしかるべきと思うがその割には減っていない。その原因は何なのか。もっと減ると見ていたのか、その辺の考えを聞かせてください。

○減量推進課長／資料1の棒グラフを見ると、家庭系は平成22年をピークとして、その後は前年よりも160トン程度ずつ減っています。思ったほどの減少量ではなかったのは事実ですが、今後も引き続き啓発等により、減少させていくことができると考えています。ただ、事業系については、平成23年度で200トン程度減少したのですが、24年度では逆に200トン近く増えるなど増減が繰り返されています。今の経済情勢から見ても、残念ながらその要因をはっきりとは掴めていません。事業系については、セミナーなどでの啓発に力を入れて行きたいと考えています。

○中井(和)委員／事業系の状況はともかく、家庭系は、人が減りさらに高齢化で出すものが減るため、もっと減っていいのではないかと思います。行政評価の外部評価では、減量施策はよくやっているという評価がなされているものの、家庭系の状況について原因など思い当たることがあれば教えてください。

○減量推進課長／原因は特別つかめていません。これまでも広報等による啓発・セミナー、さらには大きなウエイトを占める生ごみについては堆肥化などにより、減量に向けて力を入れてきたが、160トン程度の減量にとどまっているというのが実態です。

○会長／今の説明は、例えば生ごみなどがなかなか減りにくいということがあるということだと思います。さらに、グラフにはありませんが集団資源回収の方がどうなっているのか。ごみを減らすということはなかなか大変なことです。ごみの流れをリサイクルとか、資源化の方に流していく取り組みが必要かなと思います。集団資源回収のことは後ほど説明があるのでしょうか。

○減量推進課長／そうです。

○中井(和)委員／20年と比べると家庭系のごみが増えています。どうしてそうなったのかということも合わせて聞かせてください。

○林倉委員／有料化を実施する際に業者側でも各市町村の状況を調査しましたが、どこも3～4年後にはごみ量がリバウンドしています。最初は切ったり圧縮したりして、なるべく量を減らすようにしていたのが、ごみにお金を出すことに慣れて来てリバウンドするため、人口が同じなのにごみが増えるという傾向が全国的に見られます。その中でも江別はリバウンド量が少ない方だと思います。それが理由になるかどうかは別ですが、全国的にそういう傾向があります。

事業系については、江別は流通業が多く、食品関係の企業誘致も行っていますが、来年度から生ごみが大量に出る事業所が増える可能性があって、危惧しているところです。流通業から出る廃棄野菜などは、産業廃棄物ではなく一般廃棄物であり、下処理ということで重量もありますので、この辺の影響が出るかもしれないと思っています。企業誘致が進むのはいいことですが、リサイクル処理がなかなか進んでいないところもあり、来年度は事業系一般廃棄物が増えるかもしれないと思っています。

○減量推進課長／全国的に有料化後4～5年でごみ量が若干戻るという実態があります。それを想定して減量化の努力をしなければならないところですが、22年の10月から大型ごみの収集を開始して、排出の利便性が高まったものの、23・24年の家庭ごみは若干減っています。これはこれとしても、先ほど申し上げたように、さらに啓発に力を入れていかなければならないと考えています。

○菊池委員／有料化で一時的に市民に減量しようという意識が芽生えても継続しないということは、根本的にごみを減量しようという施策の進め方に問題があると思うのですが。他市の視察でわかったことも含めて、市としてこれからどんなことをしていくべきか、ということについて聞かせてください。みんなそうだからしょうがないじゃなくて、だからこのまちをどうしたいんだということがあるのが理想的だと思うのでどうでしょうか。

○減量推進課長／これからどうするかということですが、続けているセミナー関係の強化は当然として、来年度から家庭系の減量に向けて、各集団資源回収団体の役員に会って、資源回収の強化を図りたいと思っています。さらに生ごみに関しては、これまで堆肥化容器の助成を行ってきましたが、電気式処理機の申請件数が少ないため、これに代えて、新たに生ごみの水切り器をモニター配布してアンケートを取り、啓発効果を高めるなどさらなる減量強化の方法を検討したいと考えています。

○中井(和)委員／この現状を見ると、やはり市民意識を変える施策が必要だと思います。生ごみの電気式処理機から水切り器に助成対象を変えることは、対象が増えて市民意識が変わるので、ぜひそうすべきだと思います。電気式処理機については以前から問題があると言ってきましたが、ひとつの前進があったと思うのでぜひよろしくお願いします。

○佐藤委員／生ごみだけを考えるとそういう考え方もできますが、高齢化に伴って不要になった物がたくさんあり、それらが家庭系のごみとなって排出されるので、排出がある程度落ち着くまではごみは減らないと思っています。高齢化が進む以前は、そういう物は自分の家で大事に使っていたのですが、高齢化で不要になるという現象を見て感じていますので、一概に生ごみが増えてということではなく、それらも加味しながら考えていく必要があると思います。

○蛭名委員／家庭ごみを減らすには、リサイクルの新しい取り組みが必要ではないでしょうか。例えばプラスチックとか、発泡スチロールの箱などは資源回収していません。燃やせるごみに出しています。焼却施設の関係で燃やせるごみにと言いますが、さらに進んで、そういう取り組みをすることも必要と考えます。

また、水切り器ですが、私たちの団体の中での意見として、三角コーナーなどはほとんどの家庭にあるので、それを各戸に配るよりは、それに掛ける網のようなものの方がいいとか、65歳以上の方に配るという話があって、どうして65歳以上なのか、若い人も必要じゃないかというのがありました。また、家庭系の生ごみを市で集めて肥料にしているところがあります。手間も大変でしょうが、企業関係から出る生ごみを堆肥化していく施策を今後考えて行けば、林倉委員が言われていた懸念も解消されるのかなと思います。

○会長／皆さんからご意見をいただいているところですが、なかなか答えを見つけにくい問題かなという気がします。高齢化や核家族化に伴って不要物が出てくるので、どうしてもそういうことは今後もしばらく続くだろうという意見がありました。発泡スチロールなどもリサイクルしたらどうかという意見もありましたが、現有の施設でどう対応するのか。たとえば発泡スチロールなどは、空気を運んでいるようなもので、回収してリサイクルするのもなかなか大変だろうと思います。これらの意見も参考にしながら、今後の施策に反映していただきたいと思います。ほかに何か質問、意見はありますか。（なしの声）

それでは、次に進みたいと思います。2点目について、事務局から説明をお願いします。

○減量政策担当主幹／（基本計画施策の取組み状況について報告）

○リサイクル係長／（広報機能の充実①について報告）

○廃棄物対策課長／（広報機能の充実②・ごみ処理手数料の減免拡大・ごみ処理業務の委託拡大について報告）

○会長／ただいま説明がありましたが、何か質問・意見があればお願いします。

○中井(和)委員／江別市の25年度予算に向けてパブリックコメントを求めています、その中に資源回収奨励事業のことが出ています。これにどのような意見が出されたのですか。

○環境室長／パブリックコメントは終了して、今週だったと思いますがホームページにアップされています。回答もアップされています。今日は資料を持って来ていないので細かくは言えませんが、品目の拡大や取り扱いの状況など、確か2件の意見があったと思います。市の回答は、品目の拡大については、回収の方法や品目により回収物の売りさばき先の問題があるため、検討を重ねていきますというものと記憶しています。

○中井(和)委員／今回の取組み状況の報告の中で、今後取組みたいという項目が記載されていますが、この中で予算と関わるものはありますか。

○環境室長／今回出している資料は、24年12月までの進捗状況についての報告です。パブリックコメントは、25年度予算の内容に対する意見に回答しているもので、予算要求の内容に直接金銭的に連動して反映されるようにはなっていません。まだ内部検討の段階で、意見をいただいて特に予算に反映したものはない状況です。

○中井(和)委員／取組み状況の資料の中で、25年度以降にこうするというのを備考に掲げています。たとえば、リサイクルバンクの利用者負担の検討ですとか。

○環境室長／リサイクルバンクについては、賃貸契約の更新に合わせて検討することが既に決まっているので載せています。利用者負担の件は、今年度も継続して検討しているのですが、そのような形で今後も継続して検討していくという内容の回答をしています。

○菊池委員／廃食用油の拠点回収ですが、それぞれの事業所が集めた油はどう使われているのですか。また、回収された小型家電製品を、その後どう処理するのかということもお願いします。もう1点、昨日の事業系ごみ適正処理セミナーに参加した事業所数、業種と、どんなことを話されたのですか。

- 減量推進課長／廃食用油については、自社の車の燃料に使うなど、大半がBDF、バイオディーゼル燃料として活用されています。使用済小型家電については、全量が近郊の処理工場に運ばれ、解体されて、ガラス、基盤、銅線、鉄線などに分別して、資源物として他社に売却されて製品原料として使用されます。また、昨日のセミナーですが、12の飲料店・飲食店の方が集まりまして、事業系ごみの減量ということを念頭に置いて、適正な分別、すなわち、産業廃棄物と一般廃棄物、一般廃棄物の燃やせるごみと燃やせないごみ、とりわけごみの中から資源物を分別することが、店側のごみ処理費の節約にもなるということを繰り返し説明しました。
- 菊池委員／セミナーは、どれくらいの事業者呼びかけて12の出席だったのでしょうか。
- 環境室長／昨日は、野幌料飲店組合と野幌遊楽街振興会にお願いして、組合を經由して呼びかけてもらいました。申し訳ないですが、参加の組合員数については押さえておりません。
- 菊池委員／事業系ごみの減量のために意識を高めてもらうことが必要だと思いますので、次の機会には、たくさんの事業者積極的に参加してもらおうようにしていただきたいと思います。
- 中井(悦)委員／カラス除けサークルの貸与状況と不法投棄対策の状況について教えてください。
- 廃棄物対策課長／カラス除けサークルについては、6月にも話していますが、障がい者就労支援施設に製作を依頼して、50基作成しました。現在の保有は117基で、うち32基を貸し出しています。モニターとして最大1年間貸し出して、効果を体験した上で実際に導入してもらっています。不法投棄については、情報提供に関する協定などのほか、いろいろやっていて、件数は、特に大きな増減はない状況で、あらゆる手を尽くして対応しているところです。
- 会長／カラス除けサークルは、障がい者就労支援施設で50基作って、1年間の限定で貸与しているということですが、貸与した結果、実際に購入ということになったのは何件ぐらいですか。
- 廃棄物対策課長／今年作成した50基を含めて合計117基保有しています。今日現在の貸出は32基で85基の在庫があります。貸与した結果、実際に購入したかどうかは、1年に1回行うステーション調査で確認していますが、今年度はまだ把握していません。
- 環境室長／随時貸し出して、随時返してもらっているため、1年間で何基貸し出しているという数値の取り方はしていません。現在貸し出し中の数を答えたものです。1年間のモニター後返してもらう際にアンケートの形で調査します。今後どうするかという項目もあり、1年に1回集計しているということです。23年度の方は、申し訳ありませんが、本日は資料が手元にありません。
- 中井(悦)委員／貸し出しは自治会単位で行っているのですか。
- 環境室長／使っているごみステーションの単位となります。以前は手持ちの基数が少なかったので、1自治会に1基程度と制限していましたが、現在は、そのごみステーションを使っている方からの要望によりごみステーション単位で貸し出しています。
- 中井(悦)委員／この周知は十分でしょうか。それだけ在庫があるということは、あまり活用されていないのかとも思ってしまいます。カラスで困っている方は多いと思うので、せっかく在庫があるのだから、もう少し周知できないものでしょうか。

- 蛭名委員／私の家の近くのステーションでは、以前はサークルを使っていましたが、途中で重り付きのネットに変更されました。カラス除けサークルは、ごみが多いときには対応できないということがあったのかもしれませんが、重り付きネットにしてから、カラスで困ることもありませんので、カラス除けサークルだけが効果的というわけでもないようです。
- 環境室長／カラス除けサークルは、今回「ごみコミえべつ」に載せましたが、ホームページや「広報えべつ」でもPRしています。昨年50基を追加したので現在117基となっていますが、それまでは60基ほどだったため、希望があっても待っていただいたり、貸し出しを制限するということがありました。そのため昨年50基を追加して、たまたま現在、手持ちが豊富にあるという状況になっています。また、カラス対策に効果があるのは、カラス除けサークルだけとは限らず、問い合わせに対して、サークルの上に重り付きネットをかけるとさらに効果があるという説明もしています。サークルは板をつないだものですので、板の枚数を増やすことで大きくすることもできます。要請があれば、ステーションを使っている方に集まってもらい説明することもしています。在庫があるのでぜひ使っていただければと思います。
- 中井(和)委員／自治会の役員をやっているのですが、以前に自治会長を通じて貸し出しを申し込もうとして、審議会でそのことを聞いたのですが、数に限りがありひとつの自治会でせいぜい1つか2つという回答で、自治会員にも全部のステーションは無理だと話したのですが、現在の状況からすると、まだこれからでも要望が間に合うのでしょうか。
- 環境室長／6月の審議会の際には、障がい者就労支援施設にこれから作成を依頼するということと、出来上がりがいつになるかわかっていなかったのが、その時点では確かに在庫がなく、そのように答弁しました。今は在庫がありますので、問い合わせてもらえればお貸しできるかと思います。
- 会長／「ごみコミえべつ」に書かれているように、117基で数に限りがあるので、全部応えられるわけではないかもしれませんが、在庫がある限りは貸し出しできるということだと思います。また、ごみステーション単位でも申し込みができるということで、必ずしも自治会として依頼するというのではないので、問い合わせしてくださいということです。カラス対策にはほかにも方法があると思うので、いろいろな取り組みをしている自治会などが情報を共有できる場を作っていただきたいと思います。これは次年度以降の審議の中でもお話をすることになると思いますが、啓発に力を入れるという先ほどの答弁もあったので、そういうことも進めていただきたいと思います。ほかに何か質問・意見等がありますか。（なしの声）
なければ、次の3点目に入りたいと思います。説明をお願いします。
- 減量推進係長／（廃棄物の処理及び資源化・再利用の促進に関する条例の一部改正について報告）
- 会長／技術管理者の資格基準について、法律改正に基づいて条例を改正するというのですが、江別市では、環境クリーンセンターとリサイクルセンターが該当して、その技術者の資格要件に関するものということです。質問等はありませんか。（なしの声）
報告事項3件が終わりましたが、3件を通して何か追加の意見・質問等がありますか。
- 小出委員／清掃事業概要にごみの組成分析結果が掲載されていますが、リサイクルはこの部分をやるということになりますね。ということは、どこまでできるか歩留まりはありますが、ある推定ができます。たとえば新聞・チラシ・雑誌が1.75%ありますが、これを100%リサイクルすれば、

総量としてどれくらいになるかということがわかります。こういう試算の元に基本計画が立てられているのでしょうか。

○会長／清掃事業概要にごみの組成分析が載っていますが、これは可燃ごみと不燃ごみの組成分析で、その中に例えば資源物である新聞・雑誌などが1.75%入っている。ですから、この1.75%がもう少しリサイクルを進めれば、その分だけごみを減量化できるのではないかと、というご指摘ですね。

○小出委員／それと、効果が見えてくるのではないかとということです。

○環境室長／計画の作成の段階では、そのような組成分析の結果も反映させていることになっています。組成分析は、毎年定期的にポイント的に行っていて、例えば今までこれだけ啓発していても、まだこの地区の可燃ごみの中に資源に回せるものが何パーセント含まれている、というように活用していて、これを100%皆さんが資源に回した場合の経済的な効果というところまでは行っていません。

○小出委員／なかなか面白いデータだと思いますが、100%でなくても10%各項目でリサイクルに回したら、どの程度実施可能かという到達目標が見えてくる気がします。ある地区でそれが反映されていないのであれば、その地区だけを集中的に啓発すれば、それが成果として表れてくるかもしれません。江別全体を対象にするのではなく、例えば学生が多い地区にはこういう啓発をしましょうとか、もう少し市民階層や特徴などをうまくとらえて、努力を集中した啓発活動などをすると効果があるのではと思います。

○中井(和)委員／25年度以降のことについて2点。1点目は、他の審議会では予算案が示されるところもありますが、25年度予算は相当変わるのかどうかということです。2点目は、新しい江別市の総合計画が今検討されていますが、廃棄物処理基本計画は、新しい総合計画の中でどのように反映されるのか、まったく関係ないのか、この2点をお聞きします。

○環境室長／まず1点目の25年度の予算案ですが、清掃部門全体としてはあまり大きく変化した形の予算要求はしていません。これから議会の審議にかかっていくこととなりますが、大きな変更点はないと言っていると思います。総合計画との関係ですが、廃棄物処理基本計画が新総合計画と関係がないということはもちろんありませんが、新総合計画ができることによって、基本計画に何か影響があるかということ、新総合計画ができた時点で整合性の確認はしますが、現在のところは今のままで進んでいけるのではないかと考えています。

○生活環境部長／今までの第5次総合計画は、政策・施策・実施事業・事務事業という4段階で構成されていますが、今度の総合計画は、政策・施策で構成するという基本的な考え方が示されています。この下に各個別計画をぶら下げるという考え方ですので、廃棄物処理基本計画も総合計画にぶら下がるという形になってくるわけで、その時に整合性を持たすという作業が発生すると考えますが、廃棄物処理基本計画については、向こう10年、尊重して行きたいと考えています。また、この計画の中間年には見直しもありますので、その時に直せるものは直しますが、総合計画ができたからといってそれに合わせて考え方を変えるということは、人口の関係とか排出量はどう変わっていくかということが大きなポイントになるものの、ほとんど変わらないのではないかと考えています。

○中井(和)委員／計画と予算の関係では、直ちに変わるものではないということはわかりましたが、総合計画案の作成に当たっては、ここでの議論も反映させてもらいたいと思います。もう1点。

21年度からこの審議会の委員の公募が始まりましたが、他の審議会より公募委員の数が少ないように思います。審議会を市民のものにしていくためには、市民公募をもっと多くすべきではないでしょうか。他の委員の批判をするわけではありませんが、ほとんど出席していない委員もいます。市長の姿勢として市民公募を増やしてもらいたいです。

○会長／市民公募の委員は現在2名ですが、他の委員は、それぞれ業界とか、あるいは各種の団体などの代表という立場で、これはこれで市民の代表として参加されているわけですから、問題はないとも思いますが、今の意見について検討していただければと思います。ほかに何かありますか。
(なしの声)

それでは報告事項については、これで終わりたいと思います。その他について事務局から何かありますか。

【その他】

○減量推進係長／（震災がれきの広域処理について報告）

○会長／震災がれきについては、この審議会でも何回か報告を受けましたが、今回、そのような形で決まったということで、江別市における受入れは、当面なくなったということだと思います。予定していたことは以上ですが、今の件も含めて何かありますか。(なしの声)
それでは、今年度の審議会は2回の開催だったわけですが、これをもって終了したいと思います。進行を事務局に返します。

【閉会】

○減量推進課長／これをもって、本日の日程をすべて終わらせていただきます。本日は、ありがとうございました。